

CASBEE-建築(新築)2014年版
 (仮称)博多駅前四丁目第二地区 住宅施設棟・住宅機械建設工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.39		-			3.1
1 音環境		4.8	0.15	2.7	1.00			3.3
1.1 騒音	NC値:40	5.0	0.49	3.0	0.50			
1.2 遮音		4.9	0.49	2.4	0.50			
1 開口部遮音性能	T-2	5.0	0.96	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.04	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	2.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.02	-	-			
2 温熱環境		2.2	0.35	3.4	1.00			3.0
2.1 室温制御		2.2	1.00	5.0	0.50			
1 室温	空調機の設置。住戸には床暖房も合わせて設置している。	3.0	0.62	5.0	0.63			
2 外皮性能	断熱性能等級4	1.0	0.38	5.0	0.38			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	3.0	0.20			
2.3 空調方式		-	-	1.0	0.30			
3 光・視環境		1.9	0.25	2.7	1.00			2.4
3.1 昼光利用		1.8	0.50	2.0	0.30			
1 昼光率		1.0	0.60	1.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.50	4.0	0.30			
1 昼光制御	住戸の窓にはカーテンレールを設置。庇となるバルコニーも設置。	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		-	-	1.0	0.15			
3.4 照明制御		-	-	3.0	0.25			
4 空気質環境		2.6	0.25	4.2	1.00			3.7
4.1 発生源対策		3.0	0.59	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	建築材料、建材は仕上・下地共JIS F☆☆☆☆・規制対象品を使用	3.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.0	0.39	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.49	3.0	0.33			
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上	5.0	0.03	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.49	3.0	0.33			
4.3 運用管理		1.0	0.02	-	-			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.9
1 機能性		2.3	0.40	3.0	1.00			2.8
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	1.00	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		-	-	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観	倉庫の天井高:2.80m	4.0	0.04	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.04	-	-			
3 内装計画		3.0	0.93	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	内外装共防汚性の高い建材使用。	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	耐用年数65年	4.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニールクロス貼りは耐用年数20年	4.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主用途3種にB以上を使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.7	0.30	2.9	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			4.6	0.03	2.8	0.50	
1	階高のゆとり	倉庫部 平均階高:4.69m 住居部 平均階高:2.9m	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.19	4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		倉庫部 積載荷重:3500N/m ²	4.0	0.03	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.6	0.93	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺環境との調和による良好な景観を形成	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		中庭やサンルームなどを設置している。	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱等性能等級4	5.0	0.18	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 - 住宅(専有部) 0.84	5.0	0.51	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	0.11	-	-	
集合住宅の評価(3c)		一次エネルギー消費率が90%以下	5.0	0.89	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.21	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	0.11	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	0.89	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		超節水型便器使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメントを、場所打ちコンクリート杭に使用。	5.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュヤラン	3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1 消火剤		不活性ガス消火剤を使用している。	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO ₂ 排出率:72%	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	